

1 学校教育目標

・よく考え くふうする子 ・すなおで 思いやりのある子 ・たくましく やりぬく子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○ 児童と教職員が共に伸びる明るく活力のある学校 ・子供の瑞々しい感性を刺激する学校 ・児童が「ありたい自分」を発見する学校 ・児童が「挑む喜び」を感じられる学校 ・家庭や地域から愛され信頼される学校
○児童・生徒像	○ よく考え、心豊かで、たくましい子供 ・目標をもち、まっすぐに努力する子 ・がんばっている自分と仲間を愛する子 ・進んで挨拶したり、友達のよさを認めたりできる子
○教師像	○ 児童一人一人を大切に、児童の心に響く指導をする教師 ・常に研鑽に努め、児童に学び方や学ぶ楽しさを教えて一人一人のよさを伸ばす教師 ・心身ともに健康で明るく、情熱と使命感をもって児童と共に学び、遊び、働く教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

<学校の現状>

・地域は学校をいつも温かく見守り続けてくれている。多くの保護者は、学校教育について関心を持ち協力的である。さらに学校に関心を向けていただけるよう、教育活動の可視化と情報発信に努める必要がある。

・高学年全体が落ち着いて生活することができ、舎人第一小学校の手本となり、全校児童が落ち着いて学校生活を送ることができている。

【前年度の成果と課題】

・校内研究として「生活科・総合的な学習の時間」を前年度実施したことで、子ども主体の考える学習をこれまで以上に進めることができた。

・基礎・基本の定着と児童主体の問題解決学習をバランスよく発達段階に合わせて取り組んでいくことが課題である。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	区学力調査において、全学年通過率 80%以上を目指し、学力の向上を図る。	◎	◎	◎	◎	◎
2	心の教育を充実させ、内面のよさを行動や態度で表現できる児童を育てる。	◎	◎	◎	◎	◎
3	健やかな身体の育成	○	○	○	○	○
4	地域・保護者と連携し、創立40周年の節目に学校と地域を愛する心情を大きく膨らませる。	○	○	◎	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－ 1		区学力調査において、全学年通過率 8 0 %以上を目指し、学力の向上を図る。							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
・全校で統一した学力向上策を確実に実施し、成果につなげる。		区学力調査 通過率 8 0 %							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクション プラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (＝数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	学びの 個別最適化 ① 指導の 個別化	全学年 国語 社会 算数 理科	毎日	足立スタンダードを基本とした指導を行い一定の目標を全ての児童が達成することを目指す。 既習事項をもとに個々が課題を設定し、学習した内容を自分でまとめられるようにする。 足立スタンダード虎の巻を活用し、多様な学びを実践する。	授業後ノートを回収し確認	毎日児童がめあてを設定。 自分の力でめあてやまとめを考え、自分の言葉で書くことができる。			
2 新規	学びの 個別最適化 ② 学習の 個性化	全学年 国語 社会 算数 理科	毎日	個々の児童の興味・関心に応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げる。 ・自学自習に活用 ・ICT の活用 ・長期休業の宿題として活用する	週 1 回程度担任がノート等を確認	問題解決学習において計画的にまとめることができる。			

3 継続	学びの 個別最適化 ③ 協同的な 学び	全学年 国語 社会 算数 理科	週2回	異なる考えを組み合わせ よりよい学びを生み出す。 ・授業に学び合いの時間を 設定 ・ICT の活用	授業観察 授業後ノート を回収し確認	自分の考えと 友達との考え を比較して考 えることがで きる。			
4 継続	学びの 個別最適化 ④ ICT 活用	全学年 国語 社会 算数 理科	毎日	Google アプリケーション を活用した授業 個に応じた指導、自主学习 に ICT を活用する。	授業観察 学習履歴等で 確認	週1回程度 進捗を確認し 声かけ			
5 継続	学校図書館活 用	全学年 国語	低・中 週1回 高 月1回	・図書の時間や朝学を活用 し、ブックトークや本の紹 介を行う。 ・国語の教科書にあるおす すめの本をコーナー化し、 様々な本に出合う機会を 作る	読書記録で確 認	低中学年 週1回 高学年 月1回			
6 新規	基礎学力 の定着 放課後補 習	個別指導 を要する 児童 全学年 算数	月1・2 回以上	1区学力C・D層対象 4~6月は区学力の復習 を行い基礎学力を固める。 2単元テストで抽出 解説→やり直し→類似問 題	・解き直しや 類似問題を活 用し確認 ・放課後補習 の内容について 後日類似問 題に取り組み 定着を確認	・年10回以上 実施			

重点的な取組事項－2		心の教育を充実させ、内面のよさを行動や態度で表現できる児童を育てる。			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自分のことを好きになり、相手のことも大切にできる子どもの育成		学校評価アンケート「学校は楽しい」と答える児童 90%			

B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自分を好きになる	ノートの振り返りで自分に対して肯定的な見方ができる児童 80%	各教科のノートの振り返り			
他者との違いを認める	ノートの振り返り 学級会での折り合い	各教科のノート 学級会での振り返り			
交流活動	異学年交流のつぶやき	たけのこ班活動 運動会 とねいちランニング			

重点的な取組事項－3 健やかな身体の育成					
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自分の身体や健康をセルフコントロールできる子どもの育成		子ども自ら「睡眠」の大切さを理解し、 早寝早起きを意識できる			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
早寝早起きを自分で意識できる	朝起きたときの爽快感が得られるように自分でタイムマネジメントできる。	早寝早起きカレンダーを作成し、子どもたちが自分の睡眠を「見える化」する。			
体力づくり	とねいちランニングを目標に1年間の体力づくりを進んでできる	決まった時間内に走ることでできる距離(周数)を記録し、初めの記録より伸びる子が90%			
食育	自分で自分の食事をつくることのできる子80%	総合的な学習の時間を活用し、食に関する取り組みを取り入れ、受身の「食」から「自ら作る」主体的な食へと意識が変わる子80%			

重点的な取組事項－４		地域・保護者と連携し、創立４０周年を機に児童の学校と地域を愛する心情を大きく膨らませる。			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
創立４０周年記念事業を計画的に実施		創立４０周年を喜ぶ児童９０％以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
運動会 記念集会 記念式典・祝賀会 展覧会	地域・保護者との協働による各行事の計画的な実施	地域・保護者と密に連携した記念事業を通じて協働的な関係づくりをさらに進める。			

６ まとめ

（１）今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

（２）保護者や地域へのメッセージ

（３）その他（学校教育活動全般について）